

2022年6月15日
一般財団法人日本自動車研究所

ADAS 試験場竣工について

一般財団法人日本自動車研究所（以下、JARI）は、2022年7月4日（月）運転支援技術の研究・開発を支える基盤となるべく、「ADAS（Advanced Driver-Assistance Systems）試験場」を竣工・運用を開始する運びとなりましたので関係者へお披露目会を開催いたします。

➤ ADAS 試験場の設置経緯について

JARI 城里テストセンター（以下、STC という。）では2014年に第2総合試験路（全長502m 最大幅員40m）を建設し、予防安全性能アセスメント試験等の実施場所として自動車産業界皆様にご提供してまいりました。今後、前方対象物に対する認識評価試験だけでなく、交差点での横断方向への走行対象物を認識する評価試験項目（以下、交差点試験）が追加される見込みですが、既存の第2総合試験路の幅員の大きさでは、前述の交差点試験の実施が難しい状況にあります。また海外のテストセンターにおいては幅員を拡幅する動きがあります。

そこで国内においても交差点試験の実施場所をご提供していくために、2019年に幅員の大きい試験路の整備に着手いたしました。それが今回お披露目させていただく「ADAS（Advanced Driver-Assistance Systems）試験場」です。当初の計画どおり2022年7月から運用を開始いたします。

➤ どのような試験を実施するのか

主に衝突安全性能評価を行ってきた世界各地での NCAP は、2010年代から衝突被害軽減ブレーキ（AEBS）を始めとした予防安全技術の普及促進を目指して、順次、新たな ADAS 装置評価の導入を活発に行っています。国内 JNCAP では、予防安全技術のアセスメントを検討する WG を2011年に設立し、2014年度から予防安全技術の評価結果の公表を開始しました。JARI もその一員として、効果評価に基づく対象装置の選定や試験法／評価法の策定に貢献するとともに、試験受け入れに向けた設備の整備を進めています。



アセスメント試験対応路

➤ JARI の使命

より安全な自動車の普及対策として、予防安全性能評価はかせないものとなりつつあります。今回、被害軽減ブレーキの交差点を模した性能評価試験が行える場所を自動車業界にご提供することで、さらに高度な運転支援技術が確立されていくものと思われます。JARI は交通事故ゼロを目指し、安全で安心なクルマ社会に持続的な貢献をしていきます。

＜ JNCAP（じえいえぬきやつぶ）／EuroNCAP（ゆーろえぬきやつぶ）とは＞

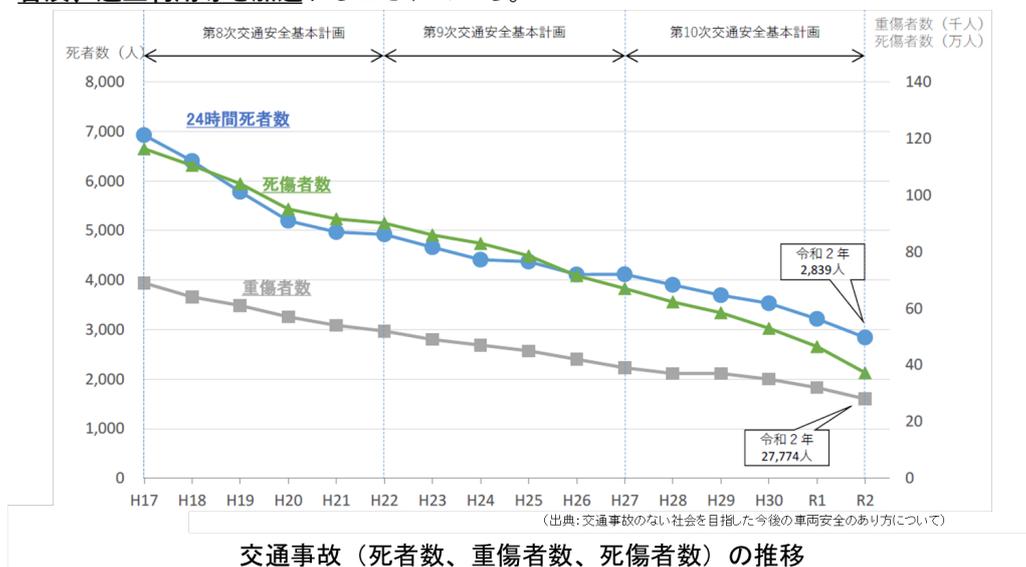
JNCAP（Japan New Car Assessment Program）は、国土交通省が 1995 年度から開始した、日本国内で販売される乗用車の安全性を評価し、一般に公表する制度です。消費者が自動車を購入する際の手助けになるほか、自動車メーカーに対してもより安全な自動車の開発を促す効果があります。JNCAP の評価項目については、2014 年度から対車両被害軽減ブレーキ（AEBS）と車線逸脱警報（LDWS）の評価を皮切りに、予防安全性能評価への取り組みがスタートしており、新しい評価が次々と追加されています。2018 年度に、死亡事故が多い夜間環境での「対歩行者 AEBS 評価」や、高齢ドライバー問題から、「ペダル踏み間違い事故防止装置の評価」が追加され、今年度から「対自転車 AEBS 評価」が加わりました。今後、2024 年度から「交差点 AEBS」の評価開始に向けて検討中です。

EuroNCAP（European New Car Assessment Program）は、ヨーロッパで実施されている自動車安全テストです。1997 年に設置された独立した消費者団体により実施され、ヨーロッパ圏内で販売されている自動車の安全性を衝突実験と衝突予防性能試験により検証し、その結果を公表しています。

（参考資料）

交通事故削減とその目標

第11次交通安全基本計画において車両の安全対策では、**令和12年までに死者数1,200人、重傷者数11,000人削減**（いずれも令和2年比）を掲げており、その対策の方向性として、**死亡・重傷化リスクが高い場面に対し、より高度な安全運転支援技術の開発、実用化、普及、適正利用等を加速**するとされている。



報道メディア取材のスケジュール

1. 日時：2022年7月4日（月）13：00～15：45
5日（火）10：00～15：00

2. 場所：一般財団法人日本自動車研究所 城里テストセンター（STC）
〒311-4316 茨城県東茨城郡城里町大字小坂字高辺多 1328 番 23

3. スケジュール

①7月4日（月）【お披露目会／ADAS 試験場セレモニー】

・お披露目会 管理棟 大会議室

13:30～ 13:35 ご挨拶 JARI 理事長 坂本 秀行

13:35 ～13:40 ご挨拶 来賓祝辞 経済産業省 清水参事官（予定）
来賓祝辞 国土交通省 野津次長（予定）

13:40～14:00 ADAS 概要説明 JARI 研究所長 鎌田 実

14:00 移動 管理棟→ ADAS 試験場

・ADAS 試験場 セレモニー ADAS 試験場

14:15 ～14:30 テープカット & 写真撮影

鎌田所長 町議会阿久津議長 永塚副会長 清水参事官 坂本理事長

伊勢評議員会長 野津次長 大津会長 上遠野町長 一色専務（予定）

14:30 ～15:00 ADAS デモ試験 ※デモ試験内容（詳細は別紙1をご覧ください）

15:00 解散 移動（ADAS 試験場→管理棟）：バス

15:15 ～15:45 メディア様向けの質疑応答【管理棟 大会議室】

鎌田所長、一色専務、川岸理事、山崎部長、中谷センター長

②7月5日（火）【ADAS テクノフェア 2022】

10：00～16：00 ADAS テクノフェア会場にて

4. 参加申し込み

・6月15日（水）より

弊所ウェブサイトからお申し込みください。 QRコード →

<http://www.jari.or.jp/form/?id=62>



ADAS テストデモ試験の概要

令和2年に発生した交通死亡事故の発生場所を道路形状別にみると、単路と交差点とでそれぞれ概ね半数ずつを占めます。また事故類型別では、車両同士の死亡事故は、正面衝突に続いて「出会い頭」や「右・左折時」など交差点内の衝突事故が多く、歩行者がかかわる信号交差点での事故は、右折してくる車両との衝突ケースが半数以上です。今後、交差点での事故低減を目的とした運転支援技術の普及が望まれており、JNCAP においても 2024 年度から、交差点 AEBS 評価の導入が検討されています。

他方、Euro NCAP においては、既に 2020 年から「AEB - Junction & Crossing」として交差点での被害軽減ブレーキ性能の評価が行われています。今回の公開デモでは、2024 年度からの JNCAP 交差点 AEBS 試験を見越した、JARI の ADAS 試験場の活用および機器と技術の紹介として、Euro NCAP の試験シナリオを国内向けにアレンジした模擬試験を実施いたします。

(1) 交差点 AEBS[対車両]試験デモ（交差点右折車と対向直進車との事故低減）

Euro NCAP で実施されている Car-to-Car Front turn-across-path (左折車と直進車の事故)を、国内向けに「右折車と直進車の衝突」の形態にアレンジして試験を行います。



(2) 交差点 AEBS[対歩行者]試験デモ（交差点左折車両と横断歩行者との事故低減）

Euro NCAP で実施されている Car-to-Pedestrian Turning Adult のうち「左折車と対向横断歩行者の衝突」の試験を行います。



ADAS 試験場完成イベント

取材連絡票

申込日 2022年 月 日

TEL : 029-856-1128 FAX : 029-856-1124

--E-mail : sogomado@jari.or.jp--

Web : <http://www.jari.or.jp/>

会社名	
媒体名	
取材代表者名	
連絡先 (TEL)	
(携帯)	
(メールアドレス)	
区分	<input type="checkbox"/> 新聞社 <input type="checkbox"/> 出版社 <input type="checkbox"/> TV局 <input type="checkbox"/> ジャーナリスト・フリーランス <input type="checkbox"/> その他 ()
取材希望日	<input type="checkbox"/> 7月4日 <input type="checkbox"/> 7月5日
参加人数	名
大型持込み機材等の有無	無 / 有 ()
来所手段	<input type="checkbox"/> 自家用車 (レンタカー含む) <input type="checkbox"/> タクシー <input type="checkbox"/> 他運転車両の同乗
ご質問等がございましたらご記入ください	

※ご記入いただいた内容につきましては、本イベントに関わる連絡以外の目的には使用いたしません。

※お問合せは 企画・管理部広報グループ (TEL : 029-856-1128) までお願いいたします。

以上